



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2570



ロータリーを祝おう
100年の歩み

RI会長 グレンE.エステス・シニア

ガバナー月信

No. **1**
2004
7月1日



CONTENTS



感銘深い国際協議会

2004～2005年度国際ロータリー グレンE.エステス・シニア会長夫妻と固い握手を交わす第2570地区橋田ガバナー夫妻

国際ロータリー第2570地区

2004-2005年度ガバナー/橋田弥寿男 (はしだやすお)

ガバナー事務所

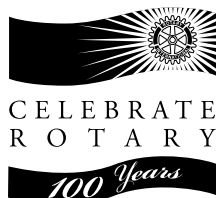
366-0824 埼玉県深谷市西島町1-1-13
埼玉グランドホテル深谷701号
電話 048-551-3821 FAX 048-574-8971
E-mail: info2004@mail.rid2570.gr.jp

- 2 ● RI会長メッセージ
- 4 ● ガバナーメッセージ
- 6 ● 直前ガバナーへの感謝のことば
新ガバナーへの激励
「新しき100年へ」
- 7 ● 「識字率向上月間」に寄せて
2006～2007年度
ガバナーノミネー候補者の推薦について
- 8 ● 地区役員のご紹介
- 10 ● ガバナー補佐・会長・幹事ご紹介
- 11 ● 報告書類等一覧表
ガバナー事務所からのお知らせ
- 12 ● 地区役員組織表
- 13 ● 第2570地区予算
- 14 ● 半期地区分担金・送金カレンダー
- 15 ● 公式訪問日程・地区副幹事紹介
- 16 ● 7月のスケジュール・8月の予定表
文庫通信



R I 会長からのメッセージ

ロータリーを祝おう 100年の歩み



グレン E. エステス・シニア



親愛なる同僚ロータリアンの皆さま

100年に及ぶロータリーの親睦と奉仕には、祝うに足る十分な理由があり、100周年にあたる私たちの2004-05年度に、私は、全ロータリアンに向かって一緒に**ロータリーを祝おう**とお願いしたいのです。

私たちは、世界の子供たちや今後生まれてくるすべての子供たちへの贈り物として、ポリオのない世界を実現するという大きな成功を祝うことになりました。

世界166カ国で120万人の会員が奉仕するという一世紀にわたる成長と拡大を祝い、そして、私たちが奉仕へと駆り立てて献身しようと絶えず奮い立たせる、ロータリアンの心温まる親睦を祝うのです。

私は、ロータリアンの皆さまに、過去の成功の自己満足ではなく、現在の困難への新たな危機感を持って、**ロータリーを祝おう**と呼びかけております。何十年にもわたる奉仕によって、私たちは、自然災害と新たな恐ろしい病や残忍な紛争に取り巻かれた世界において、人類が必要とすることの重大さを知らされました。私たちは何百万もの読み書きのできない人々や技能を備えていない人々が、容赦ない貧困の悪循環に掛かって抜け出せないでいることを知っています。私たちは、医師や病院があまりにも少なすぎる場所に、苦しむ人々が存在するのを目にしました。また、食料や水などの基本的な必需品に手が届かない人々が、あまりに多くいることを認識しています。**ロータリーを祝う**最善の方途の一つは、私たちの100年の経験の重みを十分に生かして、それらの莫大な人道的需要に取り組むことでしょう。まず第一に、超我の奉仕を据えることで、**ロータリーを祝おう**ではありませんか。

国際親善奨学生、ローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、GSEチーム・メンバー、その他私たちの人道的活動によって生活が改善された何千もの人々など、私は、皆さまがこの祝賀の心

を、ロータリー家族全体とロータリーによって感動を与えられたすべての人々と分かち合われるよう望みます。また、私たちが奉仕する地域社会に、私たちと共に祝ってもらおうよう呼びかけましょう。100周年社会奉仕プロジェクトは、ロータリー100周年を地元で広報し、世界中の何千もの地域社会で、100周年を末永く記憶に残るものとするまたとない機会です。

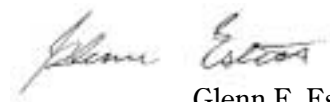
ロータリー100周年にまつわる前向きな広報は、間違いなく会員候補者の間でロータリーに対する認識と関心を高め、2004-05年度を会員を増強するに最適なものとするでしょう。また、私たちは、ここ数年来の退会防止活動を継続するのに、クラブ・プロジェクトに現在の会員を積極的に巻き込み、「ロータリー家族」委員会を維持し続け、クラブ内に気配りと思いやりのある環境を推進しなければなりません。私たちは、ロータリーの最初の100年の奉仕にとって、安定した成長を続ける会員組織がいかに重要であるか、目にしてきました。活動的で献身的なロータリアンの退会を防止し、その数を増やして、私たちの将来を安定したものにするため、あらゆる努力をしましょう。

100年は重要な礎石であり、そこに到達した団体はほとんどありません。このことは、ロータリーが正しい行いをしていること、ロータリー奉仕に対する需要がいまだ大きいことを示しています。私たちの成功には、数多くの「秘密」があります。それは、週例会に由来する親睦と共通の大義、それに世界中に向けて扉と心を開く国際性であり、私たちの誰もが、自分ひとりで言うよりはるかに多くの事柄を達成させてくれる構造です。しかしながら、最大の強みは、ロータリアンが新しい挑戦事項に取り組むにあたって抱き、最後に問題が解決されるまで持続する熱意なのです。私たちは、ポリオ撲滅において、また、私たちが奉仕する各地域社会において、他の何千もの方法でそれを実践しています。

シカゴの鋳山技師の事務所で1905年に始まったロータリーですが、初期の頃には、将来の見通しはほとんど立っていませんでした。凍てついた2月の夜、そこに集った4人の男性のうち誰一人として、100年後に31,000ものクラブが会合を開くとはもちろんのこと、その会合が定期的に行われることになるとは、予想だにしていなかった。ポール・ハリス、シルベスター・シール、ガスターバス・ローア、ハイラム・ショーレーは、明らかに、自分たちが最初の奉仕クラブを形成し、20世紀を通して他のこれほど多くの人々の心と魂を掴むことになる運動に着手しているとは、思いもしていなかった。初期の創立者たちのように、ロータリアンは、自分たちの行動がどれほど建設的な影響を与えるのか、いつもわきまえているわけではありません。しかし、100年にわたる奉仕は、私たちが世界で善行をなす計り知れない可能性を明確に示してきました。

今日、国際ロータリーは、世界で最も影響力と行動力を有する非政府団体の1つとして、奉仕の第二世紀に入る用意が整っています。私たちのポリオ・プラス・プログラム、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター、国際人道的活動、そして世界中で数え切れないほどの卓越したクラブと地区のプロジェクトは、より良いより平和な世界を達成するためのロータリーの貢献を示しています。

ロータリーの可能性に対する認識を高め、新しい挑戦事項に取り組み、それらが達成されるまでやりぬく心構えをして、奉仕の第二世紀に入ろうではありませんか。私たちのクラブで、職業で、地域社会で、そして私たちの世界で、新たに奉仕に献身して、**ロータリーを祝おう**ではありませんか。



Glenn E. Estess Sr.

(2004-05年度 国際ロータリー会長夫妻)



●あなたのクラブで、ロータリーを祝おう。

私たちのクラブは、ロータリーの心臓です。ここは、私たちがまずロータリーの親睦を楽しみ、やがてロータリーの理想に献身するようになる場です。多くのクラブに100周年度に称えるべき豊かな歴史があり、最も新しいクラブにさえ、**ロータリーを祝う**理由があります。クラブ会員に思いやりと気配りの精神を奨励して、**ロータリーを祝おう**ではありませんか。会員の退会防止活動を支援するロータリー家族委員会を継続し、熱意にあふれた新会員を入会させて、前途に横たわる挑戦事項を克服するための新たなエネルギーをクラブに吹き込みましょう。

●あなたの職場で、ロータリーを祝おう。

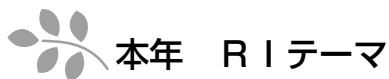
ロータリーが創設されたのは、私たちの時代とさほど変わらないような、ビジネスの世界における腐敗と醜聞の時期でした。この団体の創立以来、道徳的水準はロータリアンの代名詞になっていますが、100周年は、事業および専門職務における立派な行いに関する私たちの誓いを新たにす理想的な機会です。職場における良心、そして社員、顧客、専門職務に携わる同僚に対する清廉の手本として振舞い、**ロータリーを祝おう**ではありませんか。

●あなたの地域社会で、ロータリーを祝おう。

ロータリーの優れた達成事項の多くは、各クラブが識字率の向上、貧困および飢餓の緩和、若い人々の指導と彼らを取り巻く環境の美化といった広範囲のプロジェクト—世界31,000以上の地域社会において実施されている活動のごく一部をあげましたが—に取り組み草の根レベルでのものです。2004-05年度には、あなたのクラブの100周年記念社会奉仕プロジェクト、その他の特別式典を通して、100周年の祝賀に地域社会を参加させてください。クラブの奉仕の歴史を地域社会に広報し、将来の野心的な計画に着手して、**ロータリーを祝い**ましょう。

●私たちの世界で、ロータリーを祝おう。

ロータリーの国際性のおかげで、ロータリアンは国境を越え、地球を半周して、奉仕のパートナーを形成し、文化交流を実施することができます。2004-05年度に双子クラブ・プログラムに参加し、100周年記念の研究グループ交換やロータリー・ボランティアを支援し、青少年交換学生を派遣しもしくは受入れて、**ロータリーを祝い**ましょう。シカゴで開かれる国際ロータリー年次大会に出席し、世界の沢山の国々から集うロータリアンに加わって、ロータリーとその100周年を祝う計画を立てましょう。



“CELEBRATE ROTARY” ロータリーを祝おう 100年の歩み

国際ロータリー第2570地区
2004-05年度 ガバナー 橋 田 弥寿男



ロータリーを祝おう 100年の歩み

2004年-05年のR I 会長のテーマは「ロータリーを祝おう 100年の歩み」と決定されました。このテーマを本年度で如何に取り組み、実践するか、勉強していただきたいと思います。

全世界に広がるロータリーの活動は、先人ロータリアンの努力によって、今日の組織に作り上げられてきました。100年の歴史を刻んだ先輩諸氏に心より感謝し、深甚なる敬意を表したいと思います。

グレン E. エステス・シニア R I 会長は、強調事項として、次の4点を挙げられました。これらは最も基本的な、生活に必要な欠くべからざるものであります。

1. 識字率の向上
全世界の文盲の人々の救済が、貧困を救う
2. ロータリー家族
ロータリー家族の交流による、退会防止と会員増強を進める
3. 保健
保健衛生による伝染病の予防を計る
4. 水

きれいな水による快適な生活と健康を保つ

R I の人道的プログラムによる皆さんのご協力をいただきながら、各クラブがその一点でも結果が出れば良いと考えております。

ロータリーに若さを

本年度の私のテーマは、「ロータリーに若さを」とさせていただきたいと思います。

かねがね私は、ロータリーは老・壮・青の融和が発展の第一歩と考えており、特にクラブ並びに地区の活性化の為に、壮・青の人材育成を計るべきだと痛感しております。そのためにも、各クラブ内での若い幹部要員の育成を心掛けるべきと考え、テーマとした次第です。

老・壮・青の融和の中で、青が伸び伸び活躍できるような足場を作ってやること、時間的計画的な目標を立案して、出席可能な状態ができればと思っております。

総体的に、若さみなぎるクラブ、はつらつとしたクラブの実現を計りたいと考えています。

私自身はどちらかというとコンピュータ、インターネット、ITなどの言葉には拒絶反応を示すロータリアンの一人ですが、各業界でのリーダーとも言えるロータリアンがその利便性を認識し、受け入れ、次の100年に繋げることが重要だと考えております。肉体的な年齢は重ねても、新しいことにチャレンジする精神的な若さも大変重要であり、そのチャレンジ精神を「ロータリーに若さを」の言葉に代え、一年間皆様にご協力いただきたいと考えております。

2570地区は5グループ56クラブで構成されており、現在会員数は2,200人余りでございます。

毎年多くの新入会員を迎えながらも、退会者も多く、残念なことに年々、会員数は減少しております。

本年度は、会員の増強は勿論のこと、特に退会防止に各クラブが総力を挙げて取り組んでいただきたいと考えております。そのためにも、新しい事への

チャレンジを行い、楽しい、魅力あるロータリークラブ作りを皆さんにお考えいただきたいと思っています。

私は、新しいチャレンジとして、公式訪問を合同例会のような形で、各グループ内でいくつかに分けて行いたいと思っています。

また、I Mも従来の方法とは多少趣をかえ、家族と共にロータリーの100年を祝う催しができたら、と

考えておりますので、皆様からも色々ご提案くださることを期待しております。

以上申し上げましたが、一番懸念されることが会員の減少であります。会員各位の負担をこれ以上増加させないためにも、皆様一人ひとりが増強委員長のとつもりで、会員増強にご尽力をお願い申し上げ、私の目標といたします。

ロータリーに若さを

第1弾

地区とクラブのI T化を推進します

2570地区各クラブ会長ならびに会員の皆様へお願い

2570地区のHP（ホームページ）にアクセスして、地区の行事や各種委員会の活動のようすをご覧ください。当地区では牛窪年度より地区HPをウェブサイト上に公開しております。国際ロータリー100周年を記念して私は、地区内の全クラブとインターネットを使って情報を交換し合い、効率的な相互連絡が出来ることを期待しております。また、クラブ会員の一人ひとりがウェブサイトより地区行事やクラブの情報を閲覧できるように企画しています。皆様のクラブでも、趣向を凝らした楽しいイベント例会や、ためになる卓話例会など、事前にその情報を地区HPで紹介いただき、是非とも地区内の各クラブ会員へお知らせ下さい。

地区のHPを通じてお知らせしたいことは、本年度2570地区が行なっている部門ごとの活動内容、今後の公式訪問予定や地区行事のスケジュール、ロータリーレートの常用掲示、100周年記念事業の動向、関連リンクからのRI・RJW・地区内クラブHPへのアクセス、地区大会の概要、褒賞申請の手引きなどタイムリーな情報をお届けいたします。

また、皆様のクラブより地区のHPへ書き込みを願います事柄としては、出席報告・会員増強退会報告・財団送金報告・楽しい企画例会のご案内や例会変更などです。どしどしアクセスして下さい。

I T推進への取り組みと予定

2570地区56クラブのうち、既にホームページを開設しているクラブも在りますし、まだ準備の整わないクラブもございます。全く足並みも揃わないのが実状です。

しかしながら、今後のロータリー活動の効果的運営を考察するに、地区とクラブ・クラブとクラブ間の交流に止まらず、今までに培われた情報財源の利用管理と次代への引継ぎのためにもI T化を避けて通ることはできません。

このプロジェクトの一貫した推進と協調をご理解いただき、ガバナー補佐を中心に推進してゆきたいと考えております。会長・幹事・各位にはご理解ご協力の程、お願い申し上げます。



橋田年度・地区HPへのアクセス <http://www.rid2570.gr.jp/2004/>



高山直前ガバナーご苦勞さまでした

ガバナー 橋 田 弥寿男

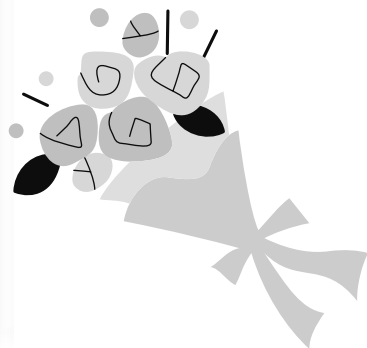
高山先生、ガバナー年度大変ご苦勞様でございました。

先生は長年に亘る地区委員としてのご経験を駆使され、常に平静な物腰と卓越した説得力でガバナー年度を運営されました。ロータリー会員のみならず会う人誰にでも、手を差し出し握手を求め、親睦と友愛の情を実践躬行し、奉仕の概念を具体的に、お示しになられました。その輝かしい幾多の地区へのご貢献に対して、全地区ロータリアンと共に満腔の敬意を表し、衷心より感謝申し上げる次第でございます。

ます。

短期間ではございましたが、私はエレクトとして、又ガバナー見習いとして数々のご指導を賜りました。皆様のご指導をもとに今後の運営管理に精進いたしたいと思います。

なお、高山ガバナー事務所の皆さんご苦勞様でした。関口幹事はじめ坂戸ロータリークラブの皆様、大変お世話になりました。心から厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



新しき100年へ

直前ガバナー 高 山 孝

新しい年度が始まります。

ロータリーの将来を展望して、各クラブの活性化を計り、正確な情報を浸透させる最重要課題はDLP（地区リーダーシッププラン）の定着を充実させることにあります。要は補佐制度にあります。

ガバナー補佐がクラブとガバナーの間にあって、この機能を有効に発揮できるか否かが制度の決め手です。この地区はDLPを実質導入することが遅れました。旧いしきたりに固執しすぎたのです。正しく運用さえすれば、成果は歴然として参ります。ロ

ータリーの組織と運営は、変わらなければならないものと、変わってはならないものを見極め、ロータリーの本質を見失うことがなければ、ロータリーが変わることを怖れてはならない。ロータリーの研修、教育の制度が各クラブとグループと地区に定着する事を強く望みます。

橋田年度が希望に満ちて、和気溢れる年度になりますよう、お体にご留意くださり、記念すべき100周年の年度として、光り輝く意義深いものにしてください。心よりお願いいたします。

「識字率向上月間」に寄せて

国際奉仕部門委員長

鈴木 勲 二 (和光RC)



7月は、国際ロータリー（R I）理事会が指定した「識字率向上月間」の特別月間です。

識字率向上は、1986年以来、国際ロータリーの強調事項ですが、1990年（平2）は、国連が決議した「国際識字年」でした。それ以降、向こう25年間で、読み・書き・計算のできない人々（非識字者）を、なくそうという運動が始まりました。

世界の人口、約90億人のうち約10億人もの人々が、非識字者だと言われています。その74%がアジアに、20%がアフリカ、5%が中南米に住んでいます。男女の比率は、男性36%、女性64%だそうです。

文字が読めないために、子どもに農薬を飲ませた母親。文字が読めないために、地主から高い金利でお金を借り、土地を取り上げられた農夫。地方から都会に職を求め、住み着いたスラムでは、思うように職にあり付けず、わが子を赤ん坊の時に手足を切断し、物乞いの道具とする父親等、数限り無い悲劇を生んでいます。

そして、読み・書き・計算が出来ないために、安

定した職が得られず、収入が少ないために教育が受けられない、といった貧困の悪循環から抜け出せずにいます。この悪循環を断ち切ることが出来る最も有効な方法が、読み書き計算する能力を与える「識字教育」なのです。

NGO（非政府組織）の奉仕団体の一つ「日本ユネスコ協会連盟」等では、書き損じハガキを回収して、海外の識字率の低い国々に対し、識字教室の設立や、学校へ行けない子どもたちへの「学びの場＝寺子屋」を、世界各地に普及させ、識字問題の克服を目指す「世界寺子屋運動」を行っています。

当地区でも、牛窪年度では、タイの第3340地区の識字率の高い農村地域の学童に、自転車を貸与する事業を行い、高山年度では、「さいたまユネスコ協会」を通じて、ネパールの学校建設と、里親制度に取り組んで来ました。橋田年度でも、「世界寺子屋運動」は引き続き、取り組んでまいる所存です。

どうぞ、各クラブの「書き損じハガキ」等の収集に、格別のご協力をお願いいたします。

2006～07年度 ガバナーノミニー候補者の推薦について

国際ロータリー第2570地区に所属するクラブは、地区ガバナー候補者がおりましたならば、ガバナー事務所より送付致します書類に国際ロータリー細則第13条第1節、第2節1項、2項、3項の各項を参照の上、地区ガバナー指名委員会の委員長の資格を有するガバナーの許に8月31日までに記載事項を記入の上で送付下さるようご通知申し上げます。

なお、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナー・ノミニーの選択を行うに際し、その選択範囲は国際ロータリー細則第13条第2節第4項における規定に基づき、地区内各クラブによって提出された候補者氏名に限定されるものではありません。あらかじめご承知おき願います。

2004~2005年度 役員のご紹介 R-I 第2570地区

◆ 地区諮問委員・指名委員



清水 達也
(熊谷RC)



福島 良治
(深谷RC)



堀 一男
(東松山RC)



飯野 行雄
(川越南RC)



今泉 清詞
(川越RC)



田中 一郎
(坂戸RC)



金子 千侍
(秩父RC)



大館 清次
(朝霞RC)



寺山 栄一
(深谷東RC)



本塚 文雄
(熊谷RC)



梅沢 定彦
指名委員
(所沢RC)



高橋 福八
指名委員
(本庄RC)



小池 英輔
指名委員
(行田RC)



牛窪 栄吉
指名委員
(川越RC)



高山 孝
指名委員
(坂戸RC)

ガバナーエレクト



野中 弘之
(熊谷東RC)

ロータリーの友委員



下妻 僚
(深谷東RC)

地区幹事



荻野 薫
(深谷RC)

地区大会



実行委員長
古郡 一成
(深谷RC)



大会幹事
滝澤 常昭
(深谷RC)

◆ 地区部門委員長



クラブ奉仕
関 靖子
(新座RC)



職業奉仕
宮 前 洋一
(秩父RC)



社会奉仕
花 家 孝之
(日高RC)



国際奉仕
鈴木 勲二
(和光RC)



新世代
井 花 富 男
(新狭山RC)



ロータリー財団
武 田 哲
(深谷東RC)



米山奨学
松 田 正 己
(所沢中央RC)

◆ 地区委員長



増強・退会防止
小久保 富 夫
(新狭山RC)



ロータリー情報
栗 山 昇
(朝霞RC)



ロータリー家族
安 田 福 輝
(上福岡RC)



職業奉仕
宇 野 潤
(熊谷RC)



社会奉仕
片 倉 昭 弘
(上里RC)



国際奉仕
柿 沼 昭 治
(深谷ノースRC)



ローターアクト
小 山 博
(行田RC)



インターアクト
田 中 博 兼
(熊谷RC)



青少年交換
中 村 正 昭
(新所沢RC)



ライラ
吉 田 恒
(岡部RC)



R財団推進・補助金
梅 澤 将 明
(坂戸さつきRC)



R財団奨学学友
間 庭 崇
(熊谷東RC)



GSE
河 田 英 一
(深谷RC)



米山奨学推進
戸 谷 全 克
(本庄南RC)



米山奨学学友
西 澤 孝 夫
(越生毛呂RC)



財 務
関 口 守 正
(坂戸RC)



ON TO シカゴ
森 泉 能 利
(深谷RC)

2004～2005年度 ガバナー補佐・会長・幹事ご紹介

グループ	ガバナー補佐	R C 名	会 長	幹 事	
第 1 グ ル ー プ	真下 和男 (東松山RC) 12RC		川 越	守 屋 英 之	落 合 正 治
			東 松 山	中 里 協 弘	荒 尾 紀 清
			小 川	高 野 実 矢	松 矢 紀 吉
			坂 戸	木 藤 文 雄	戸 口 喜 之
			越 生 毛 呂	細 沼 正 治	高 橋 一 尋
			川 越 南	岡 部 敏 男	大 谷 龍 之
			川 越 西	小 沼 政 雄	井 上 勝 美
			鶴ヶ島	中 田 洋	清 水 良 一
			川 越 東	内 川 進	大 塚 和 弘
			川 越 中 央	梅 田 章 夫	飯 島 繁 文
			坂戸さつき	浜 田 繁 美	吉 野 保 次
			東松山むさし	平 野 貞 美	相 澤 秀 司
第 2 グ ル ー プ	橋本 正彦 (朝霞RC) 9RC		朝 霞	前 田 敏	相 澤 良 平
			上 福 岡	金井塚 一 男	金 子 泰 三
			志 木	吉 田 靖 夫	岩 下 正 基
			富 士 見	斉 藤 重 治	浅 見 幸 人
			新 座	赤 塚 鉄 男	丹 羽 ひ さ ぶ ね
			和 光	大 澤 衛 裕	佐 々 木 昌 明
			朝霞キャロット	陶 山 憲 裕	前 田 光 淳
			志 木 柳 瀬 川	並 木 紀 之 正	荻 野 良 隆
第 3 グ ル ー プ	中山 恵詞 (所沢RC) 12RC		入 間	大 野 賢 次 夫	山 畑 雅 廣
			所 沢 能	大 館 井 景 三	山 田 和 義
			飯 狭 山	新 五 子 寿 彦	江 澤 和 男
			狭 所 沢	阿 部 隆 義 夫	小 林 公 成
			新 日 高	関 敏 夫	鈴 木 康 一 郎
			所 沢 西	松 本 勇 弘	原 正 武 則
			新 狭 山	北 澤 義 一 雄	齊 藤 敏 光
			所 沢 東	矢 島 喜 美 雄	倉 破 隆 夫
第 4 グ ル ー プ	新 精一 (深谷ノースRC) 12RC		入 間 南	荻 野 文 彦	不 本 令 治
			所 沢 中 央	植 村 克 彦	塚 本 久 夫
			所 狭 山 中 央	寶 積 實 静	木 附 二 郎 夫
			深 谷	亀 井 玄 富	市 川 達 夫
			本 庄 父	加 藤 葉 富 司	萩 原 村 耕 一
			秩 父 居	豊 田 豊 博	西 瀬 敏 進
			寄 居 玉	阿 部 博 浩 亨	黒 倉 林 和 澄
			児 部 東	阿 市 暮 亨	倉 秋 山 治 勇
			岡 部 東	木 丸 啓 旦	佐 島 好 孝
			深 谷	丸 木 博 太郎	福 鈴 木 勇
			上 里 本	永 田 英 雄	鈴 田 洋
			川 野 長 瀧	宮 前 秋 夫	岩 堀 孝 利
第 5 グ ル ー プ	諸貫 健一 (行田RC) 11RC		本 庄 南	奈良橋 昭	堀 口 孝 茂
			深 谷 ノ ー ス	福 島 昭	梅 澤 孝 至
			熊 谷 田	中 山 政 美 夫	大 澤 崎 政 敏
			行 田 生	黒 瀧 陽 喜 正	島 崎 司 和 明
			羽 須	堀 口 本 力	小 沢 泰 弘
			加 谷 西	野 田 好 男	黒 山 育 弘
			熊 行 田 さ く ら	池 田 中 清 自	小 田 邊 弘 司
			熊 谷 東	蛭 川 俊 也	井 桁 憲 治
			妻 沼	長 谷 川 信 治	諸 久 夫
			吹 上	坪 山 壽 郎	加 藤 勉
			熊 谷 籠 原	角 田 三 郎	森 田 光 彰
			熊 谷 南	李 一 孝	棚 澤 正 行

＊ 報告書類等一覧表 ＊

	報 告 事 項	期 日	報 告 ・ 提 出 先
1	半期報告	7月1日 1月1日	R I 日本事務局 (写) ガバナー事務所
2	出席報告	翌月14日まで	ガバナー事務所
3	会員増強報告	翌月10日まで	ガバナー事務所
4	R 財団寄付額報告書	翌月10日まで	ガバナー事務所
5	充填・未充填職業分類表	8月31日	ガバナー事務所へ1部 クラブ保管 1部
6	クラブ細則の変更	その都度	R I 日本事務局 ガバナー事務所
7	効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標 (クラブ会長要覧 P76～81をコピーして使用)	7月1日	各グループ ガバナー補佐
8	地区大会 選挙人信任状	地区大会	ガバナー事務所
9	新入会員・退会会員報告 その他変更届け	その都度	R I 日本事務局 ガバナー事務所
10	クラブの会長・幹事 例会日・例会時刻 例会場・事務所等の変更	その都度	R I 日本事務局 ロータリーの友事務所 ガバナー事務所
11	新RC・IAC・RACの誕生等	その都度	R I 日本事務局 ロータリーの友事務所 ガバナー事務所
12	ロータリーの文献注文	その都度	R I 日本事務局 (英文・和文)
13	次年度クラブ会長・幹事報告 (公式名簿記載資料)	クラブ役員選挙後 2週間以内	R I 日本事務局 ガバナー事務所 ガバナーエレクト事務所
14	全日本ロータリークラブ会員名簿校正	2 月	ロータリー全国名簿編集室
15	国際大会出席者代表 信任状 (会長・幹事のサインが必要)	5 月 (国際大会前)	ガバナーエレクト事務所
16	次年度クラブ事務所 変更のある場合	5 月	R I 日本事務局 ガバナー事務所 ガバナーエレクト事務所 各RC事務所
17	クラブの例会臨時変更	その都度	ガバナー事務所

ガバナー事務所からのお知らせ

地区幹事 荻 野 薫

- * 出席報告は、翌月14日必着で、報告して下さい。
- R I、地区への送金、その他の報告につきましても、提出期限を厳守して下さい。
- * 会員増強報告は、毎月10日必着で、報告して下さい。
- * ポールハリスフェロー・ベネファクター・米山功労者・米山功労法人については必要事項に顔写真を添えてご報告下さい。
- * 新入会員および会員のご逝去に関しては、ガバナー事務所からの所定の用紙にご記入の上、顔写真を速やかにお送り下さい。
- * クラブ週報をお送り下さい。
- その他の刊行物、クラブの記念行事、ニュース等写真を添えてお知らせ下さい。

2004～2005年度国際□-タリ-

R.I会長
グレン・E・エステス・ジュニア
(大阪北)

R.I理事
菅生 浩三
(八潮)

R.I理事
田中 作次
(八潮)

ガバナナ
橋田弥寿男 (深谷)

ガバナナ・エレクト
野中 弘之 (熊谷東)

米山記念奨学会

理事PG 金子 千侍 (秩父)

評議員 橋田弥寿男 (深谷)

〃 野中 弘之 (熊谷東)

〃 松田 正己 (所沢中央)

地区委員 下妻 暲 (深谷東)

諮問委員・指名委員

清水 達也 (熊谷)

堀 一男 (東松山)

今泉 清詞 (秩父)

寺山 栄一 (深谷東)

梅沢 定彦 (所沢)

小池 英輔 (行田)

高山 孝 (坂戸)

地区幹事・地区副幹事

幹事 荻野 薫 (深谷)

副幹事 森泉 能利 (深谷)

〃 関根 康男 (深谷)

〃 田部 莊 (深谷)

〃 宮本 幸弘 (深谷)

〃 小暮 甲 (深谷)

〃 田坂 邦安 (深谷)

〃 柴崎 典一 (深谷)

〃 嶋田 秀夫 (熊谷東)

〃 堀口 小内誠一郎 (深谷)

計 小内誠一郎 (深谷)

地区協議会ホスト

川越南ロータリークラブ

ガバナナ 補佐

第1グループ 真下 和男 (東松山)

第2グループ 橋本 正彦 (朝霞)

第3グループ 中山 恵詞 (所沢)

第4グループ 新 精一 (深谷ノース)

第5グループ 諸貴 健一 (行田)

地区実行グループコーディネーター

◎ GE 野中 弘之 (熊谷東)

米山奨学委員会

大会実行委員長 古郡 一成 (深谷)

大会幹事 滝澤 常昭 (深谷)

大会副幹事 柿大 左近 (岡部)

〃 大屋 健一 (深谷東)

〃 新島 修一 (深谷ノース)

大会推進委員長 各クラブ会長

ホストクラブ会長 ホストクラブ幹事 亀井 實 (深谷)

市川 二郎 (深谷)

財務委員会

委員長 関口 守正 (坂戸)

委員 伊藤 禎二 (川行)

〃 小山 博 (岡部)

監査 小林喜一郎 (岡部)

ロータリー-100年委員

◎ PG 大館 清次 (朝霞)

PG 福島 良治 (坂戸)

PG 田中 一郎 (坂戸)

PG 牛窪 栄吉 (川越)

各クラブより1名 (会長経験者)

職業奉仕部門

PG 小池 英輔 (行田)

☆ 宮前 洋一 (秩父)

職業奉仕委員会

◎ 宇野 潤雄 (熊谷)

新井 重雄 (所沢)

渡辺 安史 (羽生)

鎌田 政稔 (川越中央)

澤田 将信 (熊谷南)

高橋 清一 (本庄)

高橋 茂夫 (朝霞社町)

小暮 幸弘 (深谷)

職業奉仕部門

PG 高橋 福八 (本庄)

☆ 花家 孝之 (日高)

社会奉仕委員会

◎ 片倉 昭弘 (上里)

清水 武信 (狭山中央)

立野 政雄 (新座)

山田 利明 (皆野長壽)

アイバン・ク担当 春山 茂之 (本庄)

森 弘一 (熊谷西)

丸木 清浩 (越生毛呂)

宮本 治 (深谷)

職業奉仕部門

PG 梅沢 定彦 (所沢)

☆ 鈴木 勲二 (和光)

ロータリー-情報委員会

◎ 栗山 昇 (朝霞)

浅田 光二 (志木)

岩崎 利一 (吹上)

新井 望不 (川越南)

栗原 孝 (所沢)

職業奉仕部門

PG 寺山 栄一 (深谷東)

☆ 武田 哲 (深谷東)

ロータリー-家族委員会

◎ 安田 福雄 (上福岡)

嶋田 雅江 (深谷)

梶谷 幸平 (岡部)

嶋田 雅江 (深谷)

職業奉仕部門

PG 金子 千侍 (秩父)

☆ 松田 正己 (所沢中央)

職業奉仕委員会

◎ 戸谷 全克 (本庄南)

佐藤 秀弘 (朝霞)

市川 明広 (深谷)

木村 葉子 (秩父)

井上 豊 (秩父)

職業奉仕部門

PG 西澤 孝夫 (越生毛呂)

須澤 一男 (所沢西)

新井 慶司 (鶴ヶ島)

水村 雅啓 (入間)

齋藤 茂子 (深谷)

関根 康男 (深谷)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)

竹岡 映 (東松山)

岡本比呂志 (新座)

職業奉仕部門

PG 河田 英一 (深谷)

◎ 石川 嘉彦 (入間)

山田 晃 (行田)</

2004～2005年度 国際ロータリー第2570地区予算

款	区 分		橋田年度	摘 要
	項	目		
【収入の部】				
1. 分 担 金	ロータリアン分担金		59,220,000	28,200円×2,100名
2. 雑 収 入	雑 収 入		10,000	
収 入 合 計			59,230,000	
【支出の部】				
1. 外 部 分 担 金			1,050,000	
	①	ロータリー連絡費	420,000	200円×2,100名
	②	ロータリー文庫運営費	630,000	300円×2,100名
2. 地区管理運営費			41,026,000	
	①	地区大会分担金	16,800,000	8,000円×2,100名
	②	地区協議会運営費	2,200,000	
	③	エレクト事務所開設費	5,000,000	
	④	ガバナー事務所運営費	9,450,000	4,500円×2,100名
	⑤	ガバナー月信発行費	4,500,000	
	⑥	会議費及資料費	2,700,000	
	⑦	雑 費	176,000	
	⑧	予 備 費	200,000	
3. 地区活動費			17,154,000	
	①	クラブ奉仕部門	(370,000)	
		増強・退会防止委員会	120,000	
		ロータリー情報委員会	150,000	
		ロータリー家族	100,000	
	②	職業奉仕部門	(220,000)	
		職業奉仕委員会	220,000	
	③	社会奉仕部門	(200,000)	
		社会奉仕委員会	200,000	
	④	国際奉仕部門	(350,000)	
		国際奉仕委員会	350,000	
	⑤	新世代部門	(10,000,000)	
		ローターアクト委員会	500,000	
		インターアクト委員会	600,000	
		青少年交換委員会	3,400,000	
		ライラ委員会	300,000	
		派遣費他	2,700,000	
		青少年活動費	2,500,000	
	⑥	ロータリー財団部門	(1,850,000)	
		財団推進委員会	400,000	
		財団奨学学友委員会	1,300,000	
		G S E 委員会	50,000	
		補助金委員会	100,000	
	⑦	米山奨学部門	(360,000)	
		米山奨学推進委員会	130,000	
		米山奨学学友委員会	230,000	
	⑧	合同委員会	1,700,000	
	⑨	通 信 費	600,000	
	⑩	G S E特別会計繰入金	700,000	
	⑪	雑 費	200,000	
	⑫	予 備 費	604,000	
支 出 合 計			59,230,000	



区 分	金 額
ロータリー連絡委員会費	100円
ロータリー文庫運営費	150円
地区大会分 担 金	4,000円
地区協議会その他運営費	1,200円
ガバナー事務所運営費	2,250円
地区 運 営 費	2,080円
ローターアクト活動費	150円
インターアクト活動費	170円
青少年活動費（海外派遣費等）	900円
地区奉仕活動費	3,100円
合 計	14,100円

区分	項 目		年額／1人	摘 要	納 入 方 法			納入送金先	報 告 先	
					期区分	金 額	期 日			
	規 定 審 議 会 費	\$ 1	7月のみ		\$ 1×会員数	2004. 7.1	三井住友銀行			
国 際 ロ ー タ リ ー 関 係	R I 人頭分 担金	2004.7.1現在会員	\$ 35	半期ごと	上期 \$ 17.5×会員数	2004. 7.1	新宿御苑前支店 （普通） 6733244	[原] 国際ロータリー 日本事務局 ＜経理部＞ TEL：03-3903-3183 FAX：03-3903-3781 [写] ガバナー事務所		
		2005.1.1現在会員		下期 \$ 17.5×会員数	2005. 1.1					
		比例人頭分 担金		7/2～9/30 1/2～3/31	新会員数×\$ 8.75 新会員数×\$ 8.75	2004.10.1 2005. 4.1	国際ロータリー 日本事務局 局長：大島 四郎			
	R I 機関紙 The Rotarian		\$ 15	標準定款 第12条を参照	上期 \$ 7.5×購買部数 下期 \$ 7.5×購買部数	2004. 7.1 2005. 1.1				
	R 財 団 寄 付	ボール・ハリス・フェロー	\$ 1,000				随 時		三井住友銀行 本店営業部 （普通） 0968049 ＜または＞ 東京三菱銀行本店 （普通） 1528228 国際ロータリー 日本事務局 局長：大島 四郎	
		マルチプル・ボール・ハリス・フェロー	\$ 1,000追加毎							
		財 団 の 友	初回 \$100以上	毎年 \$100以上						
		ク ラ ブ 寄 付	いくらでも	クラブで集めてクラブ名で行う寄付						
		ポリオプラス （撲滅キャンペーン）	\$ 50	半期ごと \$ 25	上期 \$ 25×会員数 下期 \$ 25×会員数					
		ベネファクター	\$ 1,000以上	R財団恒久基金への寄付						
		パーマナントファンド	\$ 20以上	半期ごと \$ 10以上	上期 \$ 10以上×会員数 下期 \$ 10以上×会員数	上期中 下期中				
	※30万円以上の寄付（個人または法人）で「税制上の優遇措置扱い分寄付」を希望される方は下記へお振込みください。 三井住友銀行本店営業部 普通預金 No.8719834 国際ロータリー日本事務局 日本ロータリー奨学金委員会 局長 大島 四郎									
	米ドル建振込 三井住友銀行 新宿御苑前支店 （普通） 0000167 国際ロータリー日本事務局 局長 大島 四郎									
友 関 係	ロ ー タ リ ー の 友		¥2,520×購買部数 中途入会者は月割1部¥210		上期 ¥1,260 下期 ¥1,260	2004. 7.1 2005. 1.1	三井住友銀行浜松町支店 （普通） 6326314 ロータリーの友事務所	（申込先） ロータリーの友 事務所		
米 山 記 念 奨 学 会	普 通 寄 付 金		¥4,000以上	増額の場合は ¥500単位で	上期 ¥2,000以上×会員数 下期 ¥2,000以上×会員数	2004. 7.1 2005. 1.1	三井住友銀行 京橋支店 （普通） 0920373 （財）ロータリー 米山記念奨学会	[原] （財）ロータリー 米山記念奨学会 TEL：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281 [写] ガバナー事務所		
	特 別 寄 付 金	第1回米山功労者	¥100,000		特別寄付は、ロータリアン ロータリークラブ以外の個人・法人・団体からも受け 付けます。 米山パンフレット参照			随 時		
		第2～9回米山功労者マルチプル	¥200,000～ ¥900,000							
		第10回米山功労者メジャードナー	¥1,000,000以上							
		準米山功労法人	¥50,000以上 [累計] 35万円で功労法人							
		米 山 功 労 法 人	¥350,000以上 [累計]							
		米山特別功労法人	1回 ¥1,000,000以上 又は米山功労法人3回で105 万円に達する毎 [累計]							
地 区 関 係	地 区 分 担 金 （1名当り分担金）		¥28,200		上期 ¥14,100×会員数 下期 ¥14,100×会員数	2004. 7.1 2005. 1.1	埼玉りそな銀行深谷支店 （普通） 4364924 国際ロータリー第2570地区 地区幹事 荻野 薫	ガバナー事務所 TEL：048-551-3821 FAX：048-574-8971		

※三井住友銀行 本店 TEL: 03-3501-1112 東京三菱銀行 本店 TEL: 03-3240-1111
京橋支店 TEL: 03-3561-3191
浜松町支店 TEL: 03-3436-2781 埼玉りそな銀行 深谷支店 TEL: 048-571-4111
新宿御苑前支店 TEL: 03-3341-2131

※ 各種明細書にお振込みの明細を記入ください

2004～2005年度 ガバナー公式訪問日程

2004年7月			2004年8月			2004年9月			2004年10月			2004年11月		
1	木		1	日		1	水	熊谷東・熊谷南	1	金	熊谷・熊谷龍原	1	月	
2	金		2	月	熊谷西・妻沼	2	木		2	土		2	火	
3	土		3	火		3	金	川越南・川越西・川越東・川越中央	3	日		3	水	文化の日
4	日		4	水		4	土		4	月		4	木	
5	月		5	木		5	日		5	火	越生毛呂	5	金	
6	火		6	金		6	月		6	水		6	土	
7	水		7	土		7	火	寄居・川本	7	木		7	日	
8	木		8	日		8	水		8	金		8	月	新所沢・所沢中央
9	金		9	月		9	木	本庄・児玉・上里・本庄南	9	土		9	火	
10	土		10	火	羽生・加須	10	金		10	日		10	水	
11	日		11	水		11	土	第2グループ	11	月	体育の日	11	木	
12	月		12	木	入間・入間南	12	日		12	火		12	金	
13	火	川 越	13	金	盆休暇	13	月	狭山・新狭山・狭山中央	13	水	所沢西・所沢東	13	土	
14	水		14	土		14	火		14	木		14	日	
15	木		15	日		15	水	東松山・小川・東松山むさし	15	金		15	月	
16	金		16	月	盆休暇	16	木		16	土		16	火	
17	土		17	火	//	17	金	深谷・岡部・深谷東・深谷ノース	17	日		17	水	
18	日		18	水	飯能・日高	18	土		18	月		18	木	
19	月	海の日	19	木		19	日		19	火		19	金	
20	火		20	金		20	月	敬老の日	20	水		20	土	
21	水		21	土		21	火	秩父・皆野長瀬	21	木		21	日	
22	木		22	日		22	水		22	金		22	月	
23	金		23	月		23	木	秋分の日	23	土		23	火	勤労感謝の日
24	土		24	火		24	金		24	日		24	水	
25	日		25	水		25	土		25	月		25	木	
26	月		26	木	行田・吹上・行田さくら	26	日		26	火		26	金	
27	火	所 沢	27	金		27	月		27	水		27	土	
28	水		28	土		28	火		28	木		28	日	
29	木		29	日		29	水	坂戸・鶴ヶ島・坂戸さつき	29	金		29	月	
30	金		30	月		30	木		30	土		30	火	
31	土		31	火					31	日				

ガバナー事務所休所日

地 区 副 幹 事

小内 誠一郎
会 計
(深谷 R C)森 泉 能 利
R財団部門担当
(深谷 R C)関 根 康 男
米山奨学担当
(深谷 R C)田部井 莊
新世代部門担当
(深谷 R C)宮 本 治
社会奉仕部門担当
(深谷 R C)小 暮 幸 弘
職業奉仕部門担当
(深谷 R C)下 田 甲
国際奉仕部門担当
(深谷 R C)田 坂 邦 安
月信担当
(深谷 R C)柴 崎 典 一
諸記録担当
(深谷 R C)嶋 田 雅 江
クラブ奉仕部門担当
(深谷 R C)堀 口 秀 夫
(熊谷東 R C)

July スケジュール

1	木	
2	金	
3	土	国際奉仕部門地区委員研修会 オルモ
4	日	
5	月	新旧ガバナー会 ロータリーの友委員会 東京プリンスホテル
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	第1回 諮問委員会 年度始地区役員合同会議 埼玉グランドホテル深谷 ガバナー補佐・部門委員長合同会議
10	土	
11	日	第3回 GSE派遣団員オリエンテーション 深谷市産業会館
12	月	
13	火	公式訪問 川越RC
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	第4回 GSE派遣団員オリエンテーション 深谷市産業会館 GSE派遣団社行会 埼玉グランドホテル深谷 第1回 全国青少年交換委員長会議 高輪プリンスホテル
19	月	海の日
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	クラブ奉仕部門セミナー 深谷市産業会館
25	日	
26	月	
27	火	公式訪問 所沢RC
28	水	GSE派遣団・出発
29	木	青少年交換学生選考試験 深谷市産業会館
30	金	
31	土	インターアクト年次大会 西武文理高校

August スケジュール

1	日	
2	月	公式訪問 熊谷西RC・妻沼RC
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	公式訪問 羽生RC・加須RC
11	水	
12	木	公式訪問 入間RC・入間南RC
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	青少年交換委員会 開講式 深谷市産業会館
17	火	
18	水	公式訪問 飯能RC・日高RC
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	青少年交換学生サマーキャンプ（～26日）
25	水	GSE派遣団・帰国
26	木	公式訪問 行田RC・吹上RC・行田さくらRC
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

文庫通信

(201号)

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には、常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、〔ロータリー文庫〕は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、34年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリアン関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお待ちしております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお待ちしております。

■利用方法

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問い合わせも承ります。お問い合わせは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

(文庫資料をご希望の場合は)

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- ・絶版のものは実費（1枚20円＋送料）でコピーサービス致します。

・重複資料はご希望により無料進呈致します。

・ビデオテープは実費（1巻800円＋送料）でダビングを致します。

(貸出し)

・視聴覚資料（スライド・フィルム）は予約制（申し込み用紙有り）で貸出し致します。

(登録資料の紹介)

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申し込み下さい。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

(ご寄贈)

・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

★ロータリー文庫★

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館 7F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日